

退院基準	創部に問題がない										
月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
経過	手術前日(入院)	手術当日 術前	手術当日 術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目(退院)	
病棟	一般病棟		集中治療室(ICU)	一般病棟へ			一般病棟				
達成目標	身体的準備ができている 		合併症の症状・所見がない 麻酔から覚醒する 創部に問題がない	合併症の症状・所見がない 創部に問題がない ADLの範囲が拡大できる 			合併症の症状・所見がない 創部に問題がない 日常生活の注意点について理解できる ADLの範囲が拡大できる				
処置	呼吸訓練をします 弾性ストッキングのサイズを測定します	除毛をします 浣腸をします 点滴の針を入れます	心電図モニターをつけます 酸素マスクをします	呼吸に問題が無ければ酸素投与を中止します	基本的に埋没縫合しますので抜糸は必要ない場合が多いです 			心電図モニターをはずします			
検査	外来にて手術前検査をします レントゲンや血液検査など足りない検査があれば入院後に行います		心電図、血液検査をします	レントゲン撮影、血液検査をします			必要な場合はレントゲン撮影、血液検査をします			術後の動脈の状態を見るため、造影CT検査をします 血液検査をします	CTの結果、経過に問題が無ければ退院です
内服薬 注射薬	休薬の確認をします (術前にヘパリン点滴の必要な方は早め入院します) 寝る前に下剤を内服します	点滴をします 手術当日の内服は医師の指示に従ってください	補液と抗生剤の点滴を行います 必要に応じて痛み止めを使用します 	食事がとれれば補液の点滴を減らします 抗生剤の点滴をします 手術前からの内服薬を再開します	食事がとれていれば点滴を終了します 腎機能がよくない場合は点滴を続けることがあります 痛みがある場合は必要に応じて痛み止めを使用します 						
安静度	病院内 (状態に応じて病棟内)	手術前は病棟内	ベット上安静です ベットを起こすことができます 家族と面会できます	ベット上で坐位になれます ベットから足をおろすこともできます	ベットの横で立つ練習をして歩行開始です	積極的に歩行を開始します 病棟内の歩行ができます					
食事	昼から絶食です 飲水はできます	絶飲食です	手術後も当日は絶飲食です	飲水ができます 夜から食事が開始になります	食事を開始して、問題がなければいつも通り食事ができます 粥、米飯への変更など希望がありましたらおっしゃってください 消化器の手術ではないのであまり制限はありません ※必要な方は治療食となります						
清潔	手術前日はシャワー浴をしてください 			おしぼりで体を拭くことができます 		おしぼりで体を拭くことができます 洗髪ができます 		創部に問題がなければシャワー浴ができます			
排泄	トイレに行くことができます		手術室で尿管を入れます 排便はベッド上です	尿管が入ったままです 排便はベッド上もしくはポータブルトイレを使用します	移動できればトイレでの排泄が可能です 尿管を抜去します	トイレへ行くことができます 			 		
説明同意	手術について主治医より説明があります 麻酔について麻酔科医より説明を行います 不明な点は主治医、看護師にお尋ねください		手術後の説明があります 	微熱は術後3~4日目まで続きます 積極的に離床をしましょう 痛みがある場合は我慢せずおっしゃってください 			CTの結果を説明します 退院後の生活の注意点などについて説明します				

※病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得ます。

※入院期間や治療内容は現時点で予想できるもので、症状により変わります。